

秘書学会報

日本秘書学会広報委員会

札幌市豊平区清田4条1丁目4番1号 6004

静修短期大学内

☎(011) 883-2490

《特集》平成3年度 ブロック研究会活動報告



長年、ブロック研究会活動の発展にご尽力いただいた奥喜久男先生(中部ブロック)、清水慶秀先生(中国・四国ブロック)、井下謙次郎先生(九州・沖縄ブロック)には、平成2年度をもってブロック・リーダーとしての任を退かれることになりました。

これまでのご苦勞に深謝申し上げます。

北海道ブロック

●リーダー

浅川 修二 北海道栄養短期大学

●サブリーダー

白川 智洋 静修短期大学

運営委員

大賀 淳 北海道武蔵女子短期大学

丹治 和典 静修短期大学

能登 洋子 札幌大学女子短期大学部

渡辺 一郎 静修短期大学

■第12回研究会の開催

期 日：平成3年3月30日(土)

会 場：ポールスター札幌

出席者：17名

浅川リーダーの開会挨拶に続き、大会副委員長の阿久津先生から全国大会準備の進捗状況について説明、次いで矢田貝先生の司会で2件の研究発表があり、その後は懇親会で幕を閉じた。懇親会では「ブロック研究会活動の活性化」を話題に懇談した。

なお、研究発表のテーマ、発表者及び発表概要は次のとおりである。

①「秘書の業務する空間に関する基礎的研究」

丹治和典(静修短期大学)

この研究は学会の研究助成対象で、今回はその中間報告である。発表のあとは質疑応答があり、今後の研究課題や展望が話題になった。

②「秘書教育の高度化への展望と課題」

浅川修二(北海道栄養短期大学)

秘書教育の現状について説明があり、これからの秘書教育のカリキュラムの考え方、特に実務科目の指導の在り方や教材開発、秘書教育を取り巻く課題など広範にわたる発表であった。

■第13回研究会の開催

期 日：平成3年11月30日(土)

会 場：ポールスター札幌

出席者：20名

終日乳井先生の司会で会が進行した。浅川

先生の挨拶では、日程説明とともに、秘書教育は転換期を迎えているということで問題提起があり、次いで講演、研究発表、講演者、発表者に対する質疑応答や意見の交換を経て懇談会へと進み、そこでは秘書教育の在り方が話し合われた。

①講演「細くても、途切れても長く働く女性」

野谷悦子氏(道新株式会社「おんとな」)

浅川先生の講師紹介ののち、現役の第一線で活躍する女性の立場から、社会の変化、社会の要請、日常の職業生活で出会う問題点や課題について体験と考えが述べられた。

②「秘書官制の歴史的研究」

菊地真一(北海学園北見大学)

これまでの先生の研究とは違った角度から、我が国における秘書官制の始まり、その確立、海軍省や陸軍省などにおける秘書官のその後の地位などについて発表が行われた。

(渡辺一郎 記)



1. ブロックの運営動向

本年度は、日本秘書学会第10回全国大会が9月5日、6日に地元の静修短期大学を当番校に開催されるということで、北海道ブロックとしても研究発表、大会当日の司会などで支援をした。全国各地からの参加を得て挙行された大会は、盛会裏に終了した。

恒例のブロック研究会は、大会をはさんで例年どおり3月と11月に開かれた。以下、ブロック研究会活動について報告する。

2. ブロック研究会活動報告

関東・東北ブロック

●リーダー

森脇 道子 産能短期大学

●サブリーダー

佐藤 啓子 常磐大学短期大学部

堀江 光 城西大学女子短期大学部

運営委員

天野 恒男 東京家政学院短期大学

大宮 登 山形女子短期大学



佐藤東九男 東京工芸大学女子短期大学部
 高井由喜雄 学校法人 川口学園
 谷口 佳子 共栄学園短期大学
 中佐古 勇 十文字学園女子短期大学
 畑中 国明 専門学校 東京スクール・オブ・ビジネス
 藤田 利久 産能短期大学
 矢沢 園子 津田スクール・オブ・ビジネス



【平成3年度関東・東北ブロック研究会報告】

ブロック研究会も7年目を迎えた。4年目より実施してきた5グループに分かれてのテーマ別研究も軌道に乗り、一応の成果をみた年であった。これを土台に、テーマ別研究の区分を新たなものとして、さらなる発展を図ってはどうかとの考えから平成4年度実施予定で検討を始めている。

＝研究会活動(第12回研究会)＝

平成3年2月23日(土)早稲田速記秘書専門学校を会場に85名の会員が参加して開催された。

【研究発表】

〔秘書理論〕城西大学女子短期大学の戸田忠一氏が「経営組織における秘書のスタッフ機能」と題して、秘書は上司の個人的補佐を任務とする専門スタッフであり、上司の職務態様は社会のあり方によって違っている、

その補佐内容は先進国企業では違いはない、との発表を行った。

〔秘書実務〕共栄学園短期大学の原田夏子氏が、「秘書教育と国語表現」と題して、秘書こそ仕事柄最も正確で美しい言葉遣いをしなければならない職業であるが、この美しい言葉遣いを学生の意欲を引き出しながら具体例やテーマ別作文によって会得させる必要性とその方法を発表した。

〔国際秘書〕高崎商科短期大学の武田秀子氏が、「アドミニストラティブ・アシスタント－秘書の新しいキャリアパスをさぐる」と題して発表。最近のアメリカでは秘書業務のほかに管理的責任を担った新しいポストが生まれ定着しはじめているが、その実態の把握と今後の展開の予測を試みたものであった。

〔情報処理〕常磐大学短期大学の秋元照峰氏が、「秘書教育における情報教育の事例と問題点」と題して、現在行なわれている秘書科(秘書コース)でのコンピュータ教育には、内容・時間・設備などの差があり、統一性に欠けていると指摘し、氏の大学における15年の教育経験から問題点と解決策を発表した。

＝研究会活動(第13回研究会)＝

10月5日(土)千葉経済短期大学を会場に、「秘書教育・研究の今日的課題」を統一テーマとして開催された。参加会員は102名であった。

研究発表に先立ち、千葉経済大学・同短期大学学長で大学審議委員の佐久間先生が「教育改革と職業教育への提言」と題して講演をおこなった。

【研究発表】

〔秘書理論〕産能短期大学の森脇道子氏が今回の統一テーマに基づいて「秘書教育改革のための一試案」と題して、氏の大学における

秘書教育のカリキュラム編成－専門職業志向に対応できるように専門秘書へとステップアップできる教育を組み入れた－について具体的事例を発表した。

〔秘書実務〕東京家政学院短期大学の天野恒男氏が、「秘書教育のねらいと方法についての試み」と題して発表。秘書教育の中核をなすものは適正なものの見方・考え方を培うことであり、このためには、知識・技術修得の上に実践的・総合的問題解決力を養うべきであると提言した。

〔国際秘書〕東京家政学院短期大学の伊與木順子氏が、「職場経験から秘書職の将来性と秘書教育を考える」と題して発表。秘書経験の立場から、秘書に必要な人間関係(よいコミュニケーション)、リーダーシップ、プロ意識、組織や業種についての専門知識や技術を兼ね備えた秘書を養成すべきであると述べた。

〔情報処理〕千葉経済短期大学の赤池隆雄氏より、「秘書教育と情報処理教育の今日的視点」と題し、情報をDATA/INFORMATION/INTELLIGENCEのレベルで捉えるとき、これに対して秘書の経験・能力が必要となるが、教育ではこの判断能力と技術能力を同時に修得させるべきであると提言された。

(藤田利久 記)



中部(東海・北陸)ブロック

●リーダー

吉田 寛治 金沢女子短期大学

●サブリーダー

島名 正英 愛知女子短期大学

中村 健壽 静岡県立大学短期大学部

運営委員

〈東海地区〉

伊藤 和子 市邨学園短期大学

河村 眞澄 岡崎女子短期大学

佐々木 怜子 愛知学泉女子短期大学

島本みどり 東邦学園短期大学

清水たま子 東邦学園短期大学

水野 清子 名古屋女子大学短期大学部

〈北陸地区〉

岡野 絹枝 富山経済専門学校

奥村 眞澄 仁愛女子短期大学

北潟 克輔 金城短期大学

水谷内徹也 星稜女子短期大学

本年度は、ブロック・リーダーとして当研究会の発展、充実のためにご努力をいただいた奥喜久先生がその職をご勇退され、新しく吉田寛治先生(金沢女子短期大学)が



就任された。

研究会活動

1. 「中部ブロック研究会」

運営委員会を、1991年11月9日、名古屋産業会館で開き、東海・北陸分会合同の「ブロック研究会」を1992年2月16日(日)に開催することを決定し、以後、会員への日程の予告、研究発表の募集などを行い、以下のとおり開催された。

2月16日、午後1時より、名古屋市のほぼ中心に位置する名古屋女子文化短期大学を会場として開催された。中部ブロック各地から36名の参加者があった。

まず、ブロック・リーダーの吉田寛治先生

が開会の挨拶をされ、引き続き、前ブロック・リーダーの奥喜久先生が挨拶をされた。続いて、松下紘子先生(愛知女子短期大学)、加藤貞夫先生(愛知学泉女子短期大学)の司会によって研究発表に移り、次の4つの研究発表がなされた。

- ①「茶の湯における作法と秘書のマナー」
川西洋子先生(東海大学短期大学部)
- ②「秘書教育における情報活用能力の育成について」
戸田昭直先生(静岡県立情報処理教育センター)
- ③「ドイツの秘書教育について」
野添雅義先生(高山短期大学)
- ④「秘書実務による『グループ研究』の指導」
佐々木純子先生・清水たま子先生
下村養子先生・小島紀美先生(東邦学園短期大学)

それぞれの研究発表が、現在の秘書学の抱えている大きな問題と密接な関連性をもっていただけに、出席者から数多の質問や意見が出され、予定の時間を超える活発なものであった。



研究発表終了後、前ブロック・リーダーの奥喜久男先生に感謝の意を込めて花束の贈呈がなされ、会場に大きな拍手が響き心むぎ雰囲気が高まった。

研究会は、サブ・リーダーの島名正英先生

(愛知女子短期大学)の閉会の挨拶で幕を閉じたが、その後、会場を移動して懇親会がもたれ、研究発表者とのさまざまな意見や質問などの応酬が続き、また参加者相互の研究、教育に関する情報交換などと意義深い時間となった。(中村健壽 記)

2. 「北陸分会研究会」

北陸分会研究会は、1991年7月29日(月)午後2時から4時半まで、金沢市の「兼六荘」を会場に開かれた。夏休み中ということもあり、北陸三県から12名(含非会員1名)が集まった。

まず、金沢女子短期大学の吉田寛治サブリー

ダー(当時)から会務報告があり、中部ブロック合同研究会も含めて今年度の行事予定などが確認された。

引き続き、富山経済専門学校の岡野絹枝先生が、「コミュニケーション・スキルの指導法その2—資質養成のためのイメージ・コントロール法を考察する—」と題して研究発表。資質形成のための効果的なアプローチとして、コミュニケーション・スキルに果たすイメージ・コントロールの重要性の問題が提起され、それにもとづいて活発な質疑応答が行われた。

(西川峰高 記)

近畿ブロック

●リーダー

田中 篤子 松蔭女子学院短期大学

●サブリーダー

福永 弘之 兵庫県立姫路短期大学

運営委員

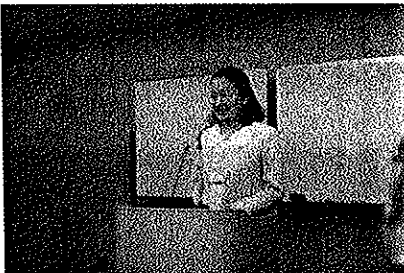
荆木 淳己 京都短期大学

宇都宮垂穂 園田学園女子短期大学

緒方 真澄 平安女学院短期大学

武田 寿子 大阪医療技術学園

矢野智恵子 京都経営経営専門学校



〔第13回研究会〕

平成3年3月21日、55名の参加をえて「なにわ会館」で行いました。

講演は、モービル石油前社長秘書の太田 麻衣さんで、題は「現代の秘書職に対応した秘書教育へのヒント」でした。

太田さんは、自分の体験にもとづいて、資質・能力について十分教えてほしいと要望された。

資質・能力としては、健康、明朗さ、気付き、思いやり、やさしさ、気ばたらき、機転、記憶力、繊細さ、柔軟性、創造性、チームワーク、判断力、責任感、決断力、積極性、秘密保持、謙虚さ、コミュニケーション能力などがあがった。又、いやな思いをした時など気

分転換のために没頭できる趣味をもっておくほうがよいということで、自分は長眼をしているといわれた。貴重な体験にもとづいたもので、みんな熱心に聞き入りました。

個人発表は、オーグスコンピュータ学院の田村欣二先生の「企業における役員室予算の策定」、聖和大学短大部の林雄太郎先生の「老人ホームの施設長の秘書的業務を行う人の職能研究」、聖泉短大の藤本ますみ先生の「秘書関係の教科書及び実用書にみる『日程管理』業務の内容分析」、大手前女子短大(当時)の有働寿恵先生の「秘書士教育の仕上がり基準についての一考察」の4名でした。祝日でしたが、多数の参加をいただき盛会でした。

〔第14回研究会〕

平成3年11月16日、42名の参加をえて「なにわ会館」で行いました。推薦入学面接日にあたっている学校が多くて、参加できない方も多かったようです。

講演は、竜谷大学社会学部の東原洋子先生の「女性のキャリアアップと男女雇用機会均等法」でした。

西欧各国における女性のための立法措置の経過など説明していただき、アルヴァミルジールの女性のライフサイクルの紹介、男女雇用機会均等法の成立の経過についての説明などしていただきました。気になったのは、女性のほんの一部が管理職になっており、そのうち60%近くが未婚、既婚者のうち40%が子供がいないという状況。女性の管理職が家庭を犠牲にしていることでした。男女雇用機会均等法施行から5年たっても不十分だということがよくわかりました。

個人発表は、次回の全国大会が地元の姫路

であるだけに6名でした。

近畿大学短大部の大窪久代先生の「設置基準大綱化と秘書教育」、神戸大学の小花和尚子、城仁士、オーグスコンピュータ学院の木村三千世の三先生の共同研究の「接遇教育における姿勢の研究」を三人を代表して、木村三千世先生が発表されました。梅花短大の笠原多恵子先生の「アメリカのコミュニティカレッジのインターンシップ制度について」、大手前女子短大の永井宏一先生の「大企業における秘書の人事異動」、芦屋女子短大の西沢真紀子先生の「アメリカの秘書の類型と日本の秘書の専門分化」、陸栄養専門学校の森本敦司先生の「法律秘書の研究」とバラエティーに富んだ内容でした。

今回は、全国大会が9月にあり、10月には日本短期大学協会の山形研修会があったため11月にしましたが、推薦入試と重なり、その余波で講演の先生も急遽変更せざるをえませんでした。

その上、日本秘書協会の関西セッションも同じ日に重なって、そちらに出られた方もあったようです。次回は、全国大会が6月に戻りますので、このようにはなりません。

(福永弘之 記)



中国・四国ブロック

●リーダー

森貞 俊二 松山東雲短期大学

●サブリーダー

岡田 聚 川崎医療短期大学

三宅 耕三 香川短期大学

運営委員

胡 義博 鈴峯女子短期大学

篠原 収 広島女学院大学短期大学部



日本秘書学会設立世話会のメンバーでもあり、秘書学会の理事として、またブロックリーダーとして、長年にわたりご尽力いただいた清水慶秀先生が、広島女学院大学の退官を機に、その職を勇退された。それに伴い、新リーダーに森貞俊二先生が就任され、左記のメンバーでスタートすることになった。

(研究会活動)

1991年10月19日(土)13:00~17:00、ホテル・ニューオカヤマで、45人の参加者、9件にもものぼる研究発表を得て、第8回ブロック研究会が開催された。研究発表に先立ち岡田聚先生より開会挨拶、森貞俊二先生より就任挨拶・新役員の紹介の後、会員一同より清水慶秀先生への感謝の気持ちを込めて記念品の贈呈が行われた。

引続き行われた研究発表では、秘書学・秘書教育に関してさまざまな側面からのアプローチによる発表が行われた。研究発表のテーマ・発表者は次のとおりである(発表順・敬称略)。



- ①『秘書の補佐機能と対処行動-秘書の対処行動としてのコーディネート機能を中心に-』
(呉女子短期大学 今林宏典)
- ②『企業における女子秘書の現状』
(高知銀行・高知大学 大上 力)
- ③『求められるビジネス秘書像に関する一考察』
(岡山女子短期大学 大柳康治・岡部瑞穂)
- ④『女性秘書に求められる「主婦性」・「女性」再考-カウンター・パートナーシップ論-』
(広島女学院大学短期大学部 篠原 収)
- ⑤『秘書教育でのコンピュータ利用』
(高松短期大学 佃 昌道)
- ⑥『「秘書実務」の効果的な指導法』
(聖カタリナ女子短期大学 村井嬉子)
- ⑦『秘書教育における接遇の概念について』
(広島女学院大学短期大学部 村上幸子)
- ⑧『短期大学生の労働観について-本学秘書コース学生の意識調査から-』
(香川短期大学

- 三宅耕三・山本慶子・田代勝也)
- ⑨『秘書教育に関する企業実態調査(Ⅳ)』
(松山東雲短期大学
森貞俊二・桐木陽子・渡辺和枝)
- なお、それぞれの発表要旨については、中国・四国ブロック会報第5号に掲載したので、ご参照いただきたい。

研究発表の後、昨年同様懇親会がもたれた。懇親会では清水先生より先の記念品のお披露目などもあり、終始なごやかな雰囲気の中で第8回ブロック研究会の全プログラムを無事終了することができた。

近年、研究会への参加者も多く、何より発表の件数が数多くあるということは喜ばしいことであり、今後とも、日頃の研究の発表の場として、また、会員相互の交流の場として、この研究会がますます発展することを切に祈っている。

なお、第9回ブロック研究会は篠原収運営委員を中心に、広島で開催される予定になっている。(渡辺和枝 記)

九州・沖縄ブロック

- リーダー
田中 友幸 福岡女子短期大学
- サブリーダー
甲斐 明 佐賀短期大学

運営委員

- 北原 康司 佐賀女子短期大学
- 坂本 一登 福岡女子短期大学
- 光岡 延幸 九州龍谷短期大学
- 室井 廣一 東筑紫短期大学



1. ブロックの運営動向

九州・沖縄ブロックでは、昨秋のブロックリーダーの交替によりサブリーダーと運営委員とに上記の異動が生じた。

これまでブロックの運営をご担当されてきたリーダーの井下謙次郎先生(鹿児島女子短期大学)、サブリーダーの内藤郁世先生(佐藤ビジネス専門学校)、運営委員の井原伸允(香蘭女子短期大学)、加島静江(中村学園短期大学)、高禎助(久留米信愛女学院短期

大学)、佐藤昭雄(近畿大学九州短期大学)、千住方(西日本新聞社)、田村幸子(福岡女子短期大学)、中川厚子(長崎女子短期大学)の諸先生方の労に謝意を表したい。

2. 研究会活動

第11回研究会の開催

期 日:平成3年6月29日(土)
会 場:佐藤ビジネス専門学校
出席者:25名

井下謙次郎先生の司会により第11回研究会が始まり、まず井原伸允先生が「TA(交流分析)と職業観」というテーマ、次に高禎助先生が「高等教育に於ける人間関係論の展開」というテーマで研究発表をされた。

引き続き、井下謙次郎先生の司会により研究発表者の井原・高禎助先生の研究発表内容を中心として両先生と参加者との意見の交換が活発に行われ、実り多い研究集会となった。

研究会終了後、会員相互の親睦を深めるために佐藤ビジネス専門学校にて懇親会が催された。

3. 平成4年度活動予定

ブロック研究会のリーダー他の運営委員の交替に伴い運営委員会を開催(平成4年2月8日、西鉄グランドホテル)し、平成4年度ブロック研究会の開催場所、次回の発表者の勧誘、ブロック会報の編集その他について話

し合った。委員会で以下のことを決定した。

第12回研究会を平成4年5月中旬、福岡市内において開催することになった。

また、第13回研究会は、平成4年11月頃、他県で開く予定である。

ブロック研究会の運営その他詳細については、近々各会員に連絡の予定である。(坂本一登 記)



第11回全国大会のご案内

日本秘書学会第11回全国大会は、右記により開催を予定しております。

期 日:平成4年6月11日(木)・12日(金)

会 場:ホテル・サンガーデン姫路
〒670 兵庫県姫路市南駅前町100番
TEL (0792) 22-2231

当番校:兵庫県立姫路短期大学
TEL (0792) 92-1513

事務局:姫路経理ビジネス専門学校
TEL (0792) 22-1185